

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) ○○中学校 特別活動
- (2) 1学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材「この1年間の成長を振り返ろう」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 小学校6年時の「キャリア・パスポート」を準備する
 - ▶ 中学校1年での学期ごとの「キャリア・パスポート」を準備する
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶ 中学入学後から今までを振り返る ・ 学習面、生活面、家庭や地域で	▶ 学期ごとの「キャリア・パスポート」を活用し、自分の成長を振り返るよう支援を行う
展開	<p>本時のねらいを確認する</p> <p>▶ 友だちとの共有し互いの成長を確認し合う。</p> <p>▶ 6年生時に書いた「理想の中学生」のページを確認する。</p> <p>・ 6年生時と今との記述を比較して感じたことを話し合う ・ 付箋を準備し、自分や友だちの変容について記入し貼る</p> <p>▶ 気付いた内容について、クラス全体で共有する。</p> <p>・ 成長の理由も合わせて考える。</p> <p>▶ 2年生になる自分への応援メッセージを書く</p>	<p>・ 1年間のがんばりを友だち同士で共有し、互いの成長を教えあえるようにする。</p> <p>・ 自己変容に気付けるように個別支援を行う。</p> <p>・ 付箋を活用することで、成長を可視化できるように工夫する。</p> <p>・ 理由を考えることで、成長が自覚できるようにする。</p> <p>・ 短期間の目標と中期間の目標を考えさせることで、具体的に行動することを考えさせる。</p>
終末	▶ そのために今、がんばる事を記入し発表する。 共有	▶ 具体的な取組について、意思決定をし、実践へつなげるようにする。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ 中学校2年・3年のなりたい自分に向け、意思決定したことが実践できるようがんばりカードを記入していく。
 - ▶ 「キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を活用することで、自己理解をさらに深められるようにする。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) ○○中学校 特別活動
- (2) 2学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成
- (3) 題材「30歳になった自分を見つめよう」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 職場体験活動の実施
 - ▶ 「キャリア・パスポート」(職場体験活動事後版)を各自記入させておく
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	▶職場体験活動後で、気付いたことを話し合おう ・伸ばせたこと ・新しく発見したこと ・働くことへの考え	▶記入済みの職場体験活動後のキャリア・パスポートを活用し、伸ばせたことや新しく発見したこと等を具体的に伝えられるよう声かけを行う
展開	▶友だちとの共有したことを踏まえ、これからの自分の進路や将来について考えていることについて発表する。 ▶30歳になった自分を見つめよう。 キャリア・パスポートに記入する。 ・30歳の自分へどんな言葉かけをしたいか ・30歳の自分がどんな仕事をしているのか。そのことに興味を持った理由 ▶記入した内容についてグループで話し合う。 ・記入後、グループで話し合う。 ・グループでの話し合い後、クラス全体で共有する。	・学級内での対話と30歳の自分について考える活動がつながって話し合えるように支援する。 ・職場体験でお世話になった人々のことも思い出させる。 ・グループ活動では、付箋に記入したものを貼っていくなど、意見が可視化できるように工夫する。 ・学級全体での話し合いを通じて、自分自身のよさや興味関心など、多面的・多角的に自己理解が深まるよう意見を引き出す工夫をする。
終末	▶自分が思う30歳になるために、今、何をしていくべきかをキャリア・パスポートに記入する。 共有	▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ 1年生の際に書いていた「15歳の自分」のページを見直す。
 - ▶ 「キャリア・パスポート」の「保護者からのメッセージ」を各自書いてもらう。」
 - ▶ 職場体験を実施した事業所(受入先)への礼状を書

「キャリア・パスポート」を活用した授業例

- (1) ○○中学校 特別活動
- (2) 3学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ウ 主体的な進路の選択と将来設計
- (3) 題材「18歳の私へ」
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶小学校とこれまで記入した中学校の「キャリア・パスポート」を準備しておく
 - ▶実態に応じて卒業アルバムの活用も考えられる
 - ▶生徒自身による9年間の軌跡を思い起こすグループワークを行ってもよい
- (5) 本時の学習過程

	児童生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶本時のねらいを確認 「18歳の私へ手紙を書こう」 ～小学校1年から中学校3年までの9年間を振り返る～ ▶小学校生活や中学校生活で心に残っていることを、クラス全体で交流 	<ul style="list-style-type: none"> ▶小学校とこれまで記入した中学校の「キャリア・パスポート」を活用し、これまでの自分を振り返り、意欲的に18歳の自分へメッセージを送ろうと取り組めるように支援する
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶友達と共有した思い出などを踏まえ、自分自身の小学校6年間と中学校3年間を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・頑張ったことなどを3年後の自分に伝える気持ちで自分に向けて記入する ▶自分の成長を振り返った上で、将来の自分を想像する <ul style="list-style-type: none"> ・どんな人になってほしいか ・そう思った理由やきっかけ ▶記入した内容についてグループで話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・9年間で成長したと感じたことや、将来の自分のイメージを伝え合う ・将来の自分のイメージに近づくためにどんなことが大切か話し合う ・グループでの話し合いの後に、クラス全体で共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ▶記録のみの時間とならないように留意する ▶じっくりと、自分と向き合う時間を大切にしたい ▶9年間での成長を実感し、将来の自分をイメージすることで前向きに取り組む態度を育成する ▶肯定的に認め合う雰囲気大切に作る ▶グループでの話し合いを通して自己理解が深まるように声をかける
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶18歳の私へ向け手紙を書く <ul style="list-style-type: none"> ・将来の自分の姿を具体的にイメージして、大切にしようと思うことなどをもとに手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ▶意思決定を自己実現や生活及び人間関係の改善等の実践につなぐよう留意する

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶小学生の時に書いていた将来の自分へのメッセージと読み比べてみる。
 - ▶先生や保護者からメッセージをもらい、読んで気付いたこと、考えたことを記入する。
 - ▶実際18歳になった時には、ここで書いたことを読み、自分の言葉に力をもらえるようにしたい。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度始め

- (1) 中学校 特別活動
- (2) 1学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (3) 題材『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』
- (4) 事前の指導 (活動)
 - ▶ 「〇〇中学校のみなさんへ」を確認しておく。
 - ▶ (多様な価値観がある) 異なる個性が集まった集団でも、自分も相手も居心地よい環境がつけられることを説明する。
- (5) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 『先輩からのメッセージを読み、自分の考えをまとめよう』について確認 ▶ これから行う活動の流れについて指示 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個人で「〇〇中学校へ入学して」(ワークシート)を記入する。 ▶ 中学校2年生からのメッセージ(「〇〇中学校へようこそ! 〇〇中学校はこんなところ」)をグループ内で回覧する。 ▶ 自分が「このメッセージが良いな、共感するなと感じたもの」をグループ内で話し合う。 ▶ 「なぜ、そのメッセージが良いと感じたか」をグループ内で相互に質問をする。 ▶ 中学校2年生からからのメッセージや、クラスメイトとのグループ協議を通じて感じたことや考えたことなどをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生徒が現在の気持ち(期待や不安)を素直に表現できるよう、クラスの雰囲気等に配慮する。 ▶ 時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるよう工夫 ▶ 他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶ 自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「中学生のみなさんへ」や「〇〇中学校のみなさんへ」を読み、中学校においてさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、中学校で引き続き「キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中学校において、学習面や生活面においての目標、家庭や地域での目標、その他資格取得等、具体的に組みたいことを考えさせる。

- (6) 事後の指導 (活動)
 - ▶ このあと、中学校1年生学年初めの「キャリア・パスポート」の作成時間を設定する。
 - ▶ 「〇〇中学校へ入学して」は学年末に記入する「1年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」時に、生徒に返却する。
 - ▶ 「〇〇中学校へ入学して」や作成したワークシートは担任との面談などにも活用する。
- (7) 4月中での実施を想定している。

「キャリア・パスポート」を活用した授業例 年度終わり

- (7) 中学校 特別活動
- (8) 1学年 学級活動 (3) 「一人一人のキャリア形成と自己実現」
ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用
- (9) 題材『1年間を振り返り、新入生へ〇〇中学校紹介(メッセージ)を書こう』
- (10) 事前の指導(活動)
 - ▶小学校から持ち上がった「キャリア・パスポート」を見返しておく
 - ▶中学校1年生で記入した「キャリア・パスポート」を見返しておく
- (11) 本時の学習過程

	生徒の活動	指導の留意事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ▶「1年間を振り返り新入生へメッセージを書こう」について確認 ▶これから行う活動の流れについて指示 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ▶1学期に書いた「〇〇中学校へ入学して」、中学1年学年初めと、各学期末の「キャリア・パスポート」をもとに、入学したころの自分と一年間の自己の成長を個人で振り返る。 ▶自己の成長のきっかけとなったできごとや、成長を支えてくれた人やものなどについて、個人で振り返った内容をグループ内で話し合う。 ▶自分の発表に対するクラスメイトのコメントや、クラスメイトの発表を聞いて感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 ▶個人での振り返りやワークシートの内容をもとに、新入生へ「〇〇中学校へようこそ! 〇〇中学校はこんなところ」を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶時間内でグループを組み直すなど、クラス内のできるだけ多くの生徒の発表を聞く事ができるような工夫 ▶他者の意見を否定せず、傾聴の態度を促す。 ▶自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。 ▶入学時の期待と不安な気持ちをもった自分自身に応援メッセージを送るつもりで考えさせる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ▶入学から学年末まで、授業やさまざまな行事を通して、どのような力が身についたのかイメージする。 ▶「中学生のみなさんへ」や「〇〇中学校のみなさんへ」を読み、2年生に進級するにあたりさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、引き続き「キャリア・パスポート」を作成することの意義を再認識する。 	

- (12) 事後の指導(活動)
 - ▶学年末の「キャリア・パスポート」を作成する

- (7) 実施時期
2～3月中の実施を想定している。